

ゴールデンウィーク期間中の鳥取砂丘周辺観光入込客数及び渋滞対策の結果について

1. 観光入込客数

今年のゴールデンウィークは、3年ぶりに外出制限のない形で迎え、好天にも恵まれたことから、鳥取砂丘には県内外から多くの観光客が訪れました。

ゴールデンウィーク期間(10日間)中の入込客数は 146,364人 (前年より86,573人増) となり、コロナ前の水準近くまで回復する結果となりました。1日あたりの平均入込客数は 14,636人 (前年より8,657人増)、最も多い入込となったのは5月4日(水祝)で 30,012人 となります。

(観光入込客数の内訳)

【コロナ前】

区分 (期間)	令和4年 4/29~5/8 (10日間)	令和3年 4/29~5/8 (10日間)	平成28年 ※R4と同曜日構成 4/29~5/8 (10日間)
砂丘カウンター	84,337人 (8,434人/日)	36,978人 (3,698人/日)	84,584人 (8,458人/日)
砂丘リフト	22,398人 (2,240人/日)	6,914人 (691人/日)	23,581人 (2,358人/日)
鳥取砂丘ビジターセンター ※平成30年10月開館	14,341人 (1,434人/日)	8,065人 (807人/日)	
こどもの国	24,065人 (2,407人/日)	7,021人 (702人/日)	25,217人 (2,522人/日)
柳茶屋キャンプ場	1,223人 (122人/日)	813人 (81人/日)	1,275人 (128人/日)
合計	146,364人 (14,636人/日)	59,791人 (5,979人/日)	134,657人 (13,466人/日)

※砂の美術館の入込客数は除いています。

令和3年の約245%
コロナ前の同じ曜日構成だった平成28年の約98% (ビジターセンターを除く)

(参考) その他施設

	令和4年 4/29~5/8 (10日間)
鳥取砂丘砂の美術館 (パネル展等開催) ※無料開放	5,717人 (572人/日)

2. 渋滞対策の取組結果 (4月29日~5月5日)

- 既存駐車場 1,045 台に加え、臨時駐車場 800 台 (オアシス広場) を開設。さらに5月4日 (水祝) に岩戸臨時駐車場 200 台を開設。各臨時駐車場から鳥取砂丘間を結ぶ臨時バス等を運行しました。
- 交通誘導員を1日当たり最大60人(7日間)、臨時バス等案内スタッフを1日当たり12人(6日間)配置しました。
- 期間中、国道9号線にまで及び大きな渋滞は発生せず、5月3日 (火祝) 15:00 に最大1,500m程度 (砂丘入口交差点から砂丘トンネル先まで) の渋滞が発生しましたが、短時間で解消し、市民生活への影響は最小限であったと考えます。
- 国や県等と連携し、看板の設置やホームページ、ツイッターによる情報発信を行いました。
- 新型コロナウイルス感染防止対策として、マスクの着用やバス乗車時の検温確認、車内の消毒、乗車人数の低減等を行いました。